

平成18年度福岡県トライアスロン連合認定記録会

2006年3月19日

スイム 福岡県北九州市 ウイングス曾根店(25m×6コース)

水温: 31.0

ラン 福岡県北九州市 鞘ヶ谷競技場(400mタータントラック)

天気: 晴、気温: 14.5、風速: 2m

小学1~2年生男女(S:50m/R:400m)

早川 凌	2	長丘小	0	36	84				DNS
濱口 春奈	2	長丘小	0	35	03	1	35	77	
杉本 敦哉	2	百道浜小	0	35	06	1	26	14	
黒尾丸 智拓	2	北方小	1	10	41	1	35	74	

小学3~4年生男女(S:100m/R:800m)

黒尾丸 真希	3	北方小	2	16	07	3	35	64	
鶴崎 莉乃	3	春日東小	1	17	45	3	20	11	
川畑 孝史	4	太宰府東小	1	54	44	4	00	54	
福嶋 るり子	4	小石原小	1	54	26	3	02	33	
橋本 奈津希	4	田主丸小	1	54	66	3	09	99	
杉本 陽哉	4	百道浜小	1	14	85	3	00	00	
内田 成香	4	南薫小	1	23	69	3	06	60	

小学5~6年生女子(S:200m/R:1000m)

村上 遙	5	高蔵小	3	02	04	4	09	54	
渡邊 香保里	5	苅田小	2	33	68	5	00	00	
三角 綾	5	行橋小	2	23	47	4	06	12	
鶴崎 美遙	5	春日東小	2	23	78	4	18	76	
内田 成美	6	南薫小	2	52	84	4	35	93	
山辺 美希	6	香椎下原小	2	23	64	3	59	09	
小城 千奈	6	大川市							DNS

小学5~6年生男子(S:200m/R:1000m)

富田 雄紀	5	苅田小	2	56	14	5	27	26	
早川 竣	5	長丘小	2	13	33	3	57	42	
安中 伸吾	5	椿市小	2	24	78	4	27	87	
今泉 雄太	6	福教大附属小	2	58	90	3	24	14	
田代 祐基	6	湯川小	3	19	68	4	13	40	
作本 祐一郎	6	広徳小	3	30	77	3	52	30	
小川 翔平	6	北方小	2	59	92	3	52	57	

12～15歳女子 (S : 400m / R : 1500m)

野田 純那	6	奥古閑小	5	26	29	5	40	56
富田 麻美	2	苅田中	5	29	43	8	11	60
渡邊 未来	2	苅田中	5	43	50	7	49	85
野田 菜月	2	尚綱中	5	52	96	5	27	12
橋本 千菜美	2	泉中	4	55	25	7	16	03

12～15歳男子 (S : 400m / R : 1500m)

濱口 健太	6	長丘小	4	38	56	6	16	96
川畑 佑平	1	筑陽学園中	4	43	50	6	15	33
西田 和磨	2	金川中	5	13	12	5	26	78

16～19歳女子 (S : 400m / R : 3000m)

藤本 奈緒子	3	霧丘中	5	13	29	11	38	52
--------	---	-----	---	----	----	----	----	----

16～19歳男子 (S : 400m / R : 3000m)

宇都宮 涼太	1	小倉南高校	5	03	44	9	35	62
野崎 弘亮	2	長崎西高	4	44	09	9	51	74

20歳以上女子 (S : 400m / R : 5000m)

伊藤 弥生	19	ウイングス TC	4	50	91	18	31	73
-------	----	----------	---	----	----	----	----	----

20歳以上男子 (S : 400m / R : 5000m)

武友 潤	21	福教大	4	29	00	16	20	78
樋口 玲士	23	福岡県	4	14	00	18	59	85
西村 健太	24	熊本県	6	11	25	18	19	33
平川 剛士	24	福岡県	5	23	59	16	53	64
飯干 守道	25	宮崎県	5	14	67	15	18	44
柿塚 晋也	26	佐賀県	5	12	00	16	36	91
永田 成也	28	鹿児島県	4	49	49	16	58	10
菊池 晃一	29	大分県	5	01	00	17	14	18
武友 寛	29	福岡県	5	08	34	16	18	37
野崎 功	31	福岡県	6	11	69	16	44	93
濱田 孝之	33	山口県	4	50	79	16	16	05
藤井 裕之	34	山口県	5	13	43	16	52	93
一木 悟美	41	福岡県	6	32	35	18	06	99

審判長 署名 _____

昨年、小雪舞うなかで復活した福岡県のこの認定記録会は、今年は打って変わって絶好のコンディションのもとでの開催となった。

昨年は12歳以上の14名の少数であったが、開催することに意義があるからと言いつつ今年にかけてきた。そして、小学生からの参加も募り、福島強化委員の呼びかけもあって福岡県タレント発掘事業（福岡キッズ）の子どもたちも多数参加してくれ、総勢なんと50名の盛況であった。

福岡市立百道浜小学校2年の杉本敦哉君はスイム、ランともに1級をクリア、全国No.1であった。一般では武友潤選手（学連・福岡教育大）と伊藤弥生選手（ウイングスTC）が両種目で7級をクリア、JTU公式大会の出場資格を獲得した。

今年も10人のスタッフでおこなった。スタッフの皆さん、ご苦労さまでした。昨年も同じ10人だった。参加者が14人でも10人必要、50人でも10人でやれる。来年もぜひ多数参加してください。

担当 野口隆平

福島智和JTU強化委員談

全国15会場でやっています。ワールドカップ石垣島大会の最終選考にもなっていて全国的にはレベルの高い記録会になっていますが、福岡会場の場合、まだまだ低いレベルでした。九州の現在の競技人口、競技環境がそのまま記録に現れていると思います。

そんななかでキッズの杉本君はすばらしかったです。こういう子がいるんですね。ひと筋の光が垣間見えた気がしました。一般では、見事に標準記録を突破した武友選手と伊藤選手が近い将来全国と戦える実があると思います。また、種目別でスイムでポテンシャルの高さを見せつけたオープンウォーター出身の樋口玲士選手、ランで安定した走りを見せた箱根駅伝出身の飯干守道選手が全国トップクラスだっただけでもうひとつの種目での飛躍を期待しています。

少しずつではあるが強化選手が育っていること、底辺が広がっていることが今回のデータで確認できたので、長い戦略のなかでの短期的目標達成も可能になってきました。

これから先10年後、20年後のトライアスロン界をささえていくのはいまの子どもたちであり、その子どもたちに夢を与えるのもエリート選手の役割です。その夢を与えるエリートを発掘、強化、送りだしていくという長期的視野にたった重要な役割をこの認定記録会は担っていますので、たずさわれたことを誇りに思い、これからも力を尽くしていきたいと思います。

伊藤弥生選手談（ウイングスTC・JTUジュニア強化指定A選手）

関係者の皆さん、お世話になりました。ありがとうございました。

昨年に比べて参加者の多さに驚き、小学生達のレベルの高さにも驚きました。

そんななか、わたし個人としてはスイムは納得いきませんでしたが、課題にしていたランで目標タイムをクリアすることができ、満足しています。

目標にしている関根選手も認定記録会から世界に出ていったと聞いています。わたしも早くワールドカップに出場し、世界を転戦したいと強く思っています。あっ、でもその前にジュニアの世界選手権ですね。今年はこのレースを目標に、皆さんをワクワクさせられるようなレースを目指していきます。

これからもご声援よろしくお願いします！